

第一線で活躍中！

# 一等航空整備士養成コース 1期生 OB&OG 座談会



航空整備の最上位資格である「一等航空整備士」は、大型機の整備全般を行える国家資格であり、航空整備士になった者が第一の目標とする資格である。しかし、数ある整備資格の中でもとりわけ難関であるがゆえ、資格取得までが長い道のりとされてきた。また、日本国内では航空整備士の高齢化に伴う大量退職が予想されており、一等航空整備士資格保持者が不足することが懸念されている。

そこで ANA、JAL、航空局が本校と連携し、計画的に航空整備士を養成・確保するために、本校に「一等航空整備士養成コース」を設立した。本コース卒業後は ANA、JAL で即戦力として入社し、それぞれの会社での訓練期間が短縮されることから最短2年で一等航空整備士資格試験を受験できる。ANA ラインメンテナンステクニクスに就職後、一等航空整備士資格を取得した先輩たちの声をお届けする。

 **日本航空大学校**  
北海道 新千歳空港キャンパス

## 一般的に入社2年目で一等航空整備士の資格を取得するのはダントツで早い！

うのは断トツで早い！現場の先輩で一等航空整備士の資格を取得していない人もいるので、改めてスピードの速さを感じています。佐々木の言う通り、一等航空整備士養成コースの大型機に焦点をあてた教育内容は、本当に濃かったと思います。

**緒方** 私もこのコースの一番のメリットは、「大型機に特化した勉強に集中できること」だと感じています。将来的に大型機の整備士になるためのコースなので、大型機の資格を持った人材が不足しているという航空業界の課題に貢献できるコースでもあります。ただ私たちは一期生ということで前例がなかったことから、相談できる先輩がいなくて不安な気持ちもあったことも事実。今後はこのコースの後輩たちの相談役にもなりたいですね。

**学生時代の自分に対して、また一等航空整備士養成コースを目指す後輩たちに対して、どのような言葉をかけますか？**

**緒方** 飛行機が好きというだけじゃ知識はつかないので、「常に疑問を持って勉強しなさい」という言葉をかけたいです。また整備は幅広い知識が必要とされるので、学生時代から先生によく指導されていた「つながりを意識して勉強すること」を意識しながら、様々な分野の内容を関連付けながら勉強することが大切です。

**佐々木** 「教科書に載っている基本が大事！」という言葉をかけたいです。一等航空整備士を取得する際の訓練や試験勉強の時に、改めて基本の大切さを感じました。基本的なことを理解できていない部分があると、他のことへの理解にも繋がりにません。

**戸塚** 入社後も時々学生時代のノートや資料を見返すことがあったので、キレイにまとめておけば効率の良い勉強ができたと思います。後は、「たまに運転しなよ！」という言葉もかけたいですね（笑）。空港内を運転する際、もつと運転に慣れておけばよかったです。日々感じていきます。

**最後に、今後やってみたいことや、目指すキャリアを教えてください！**

**全員** 他の機種の資格も取りたい！

**戸塚** 飛行機の勉強を面白く感じているからこそ、次のステップとして自ずと他の機種にチャレンジしたいと思いますよ。他には、地元である北海道に貢献したり整備士という仕事を広めていければとも思っています。

**佐々木** まずは新人として先輩のアシストをしつつやりとができるようにしていくこと。そして将来的には、先輩たちを教え、手本となるような整備士になりたいです。

**緒方** これから現場で経験する様々な作業を通して、知識や経験を増やしていきたいと思っています。約2年後には、出発する旅客機の整備の最終確認を担う確認主任者として独り立ちをするので、そこに向けての勉強も頑張りたいです。

ありがとうございました！これからも安全で快適な空の旅を支えてください！

### CHECK ON SNS!

日本航空大学校 北海道の授業の様子や学生生活、オープンキャンパスの最新情報を発信しています。

 300万回再生のCAメイク動画も要チェック！ 【公式 TikTok】 jaa_cts	 【公式 インスタグラム】 jaa_info	 【公式 LINE】 @jaatech	 【公式 YouTube】 日本航空大学校 北海道	 【公式 Twitter】 @JAA_INFO
---	---	--	--	--

# 限られた人しか触れることのできない航空機の整備士は、 とても魅力的な職業でした。



まずは難関資格でもある「一等航空整備士」の資格取得、おめでとうございます！目標を達成した今、どのように感じていますか？

**緒方** うれしい、安心したあとという気持ちが正直な感想です。コッコツと勉強することが苦手な私でしたが、目標に向かって継続して頑張った結果、一等航空整備士を取得できて本当に良かったです！

**戸塚** 一人の力ではここまで行けていなかったと思うので、同期、学校の先生、会社の環境、そして何より自分のことを応援してくれた親に感謝したいですね。今後、航空業界の第一線で活躍していくことで恩返しをしていきたいです。  
**佐々木** 嬉しい気持ちももちろんあるのですが、これからがスタートなので、一層責任感を持って安全な飛行機を飛ばしていきたいですね。

**みなさんが航空整備士を目指すようになったきっかけは何ですか？**

**戸塚** 高校の修学旅行ではじめて飛行機に乗り、飛行機のスケールの大きさに驚いたことがきっかけです。航空業界には様々な職種がありますが、中でも航空整備士を選んだ理由は元々物事を深く究明することが好きだったから。飛行機のすべてを知り尽くしているのは整備士なので、そこに魅力を感じましたね。

**緒方** プライベートでも、出掛ける前は必ず鞆の中の持ち物チェックをします！航空整備士は飛行機の周辺に忘れ物をしたら大変ですのでも。ちなみにその時、心の中で指差呼称します（笑）

**戸塚** 私も家を出るときに「鍵を閉めた！」と心の中で指差呼称することがある（笑）また一等航空整備士資格を取得したボーイング737が空を飛んでいるのを見ると、自然と誇らしい気持ちになります。

厳しい訓練と審査をクリアしなければならぬ一等航空整備士の資格取得にあたり、どんな壁にぶつかりましたか？

**緒方** やはり試験が近づくにつれて、不安やプレッシャーでモチベーションを維持するのが難しくなりました。

シモンを維持するのが難しくなる時期もありましたね。そこで土日のどちらかは勉強から完全に離れて自分の好きなことをし、もう1日は勉強に集中するといったメリハリをつけて乗り越えました。ちなみに完全にオフの日は、とにかく羽田空港から離れた場所に行くようにしていました（笑）

**戸塚** 短期間での取得になるので、とにかく1日の勉強量が多くなることですね。私は緒方のようにオンオフをはっきりさせるタイプではなかったのですが、何も勉強しない日は作らなかったです。その代わり毎日睡眠をしっかり取って、おいしいものを食べることでモチベーションを維持し、コッコツ勉強しました。



**佐々木** 私は元々飛行機に興味があったわけではなく、パイロットを志していた父の影響が大きかったですね。高校卒業後の進路を考える時期に、特に進路を考えていなかった私に「航空業界はどう？」と父から勧められたことがきっかけです。

**緒方** 本格的に整備士を目指すきっかけになったのは、戸塚と同じく高校の修学旅行。修学旅行に組み込まれていたANAの格納庫見学で、現役航空整備士の話を聞いたことで整備士が将来の夢になりました。また「みんなと違う仕事をしたい！」と考えていたので、限られた人しか触れることのできない航空機の整備士は、とても魅力的な職業でした。

緒方さんは高校卒業後、一度大学に進学していますが、なぜ本校に再進学をしたのですか？

**緒方** 高校が進学校であったこともあり、航空宇宙工学を専攻できる大学に進学しました。いざ大学へ進学してみると、今学んでいることでは整備士になれないのでは？と感じ始め、再進学を考えました。親からは涙を流されて猛反対されましたが、残りの大学生活でかかる学費や、大学を卒業した後の就職先と、日本航空大学校北海道を卒業した後の就職先を比較して説得したことで、親に納得してもらうことができました。憧れていたANAラインメンテナンステクニクスに入社してみると、意外と自分と同じようなルートで整備士になっっている人がいたので、再進学を不安に思っていた人は安心してほしいです。「整備士として働きたい」というぶれない夢があるのであれば、高校卒業後に日本航空大学校北海道に進学することが一番の近道であると思います。

**航空整備士の職業ならではのエピソードを教えてください。**

**佐々木** 北海道出身ですが、羽田空港ならではの海風が寒いと感じます（笑）。仕事内容でいうと、急に「あの機体に行つて作業してください！」と頼まれることがあり、時間と闘う場面が多いことですね。

どうしてもやる気がでない時には、資料の色塗りや暗記など、その日の気分と勉強内容を変えることもありました。

**入社以降どのような勉強生活（訓練生活）を送っていたのか気になります。**

**緒方** 自宅で勉強をしていてわからないことがあれば、次の日に社内にあるホワイトボードにわからないことを簡条書きで書いて、教官に対して「これらがわからないので、わかるまで私に時間をください！」とお願いすることもありました。

**佐々木** 私は通常の勤務時間に加え、そのまま会社に2時間程残つて、その日学んだことをその日のうちに復習するようにしていました。しかし一等航空整備士養成コースを卒業した自分たちは、学生時代のうちから大型機の勉強に集中してこれたので、周りの先輩たちを見ていると働きながらの大型機の勉強はとて大変そうだと感じていました。

他の航空整備士と比べて、一等航空整備士養成コースを卒業した自分のキャリアパスをどう感じていますか？

**戸塚** 一般的に入社2年目で一等航空整備士の資格を取得するとい

## 航空整備科

### 一等航空整備士養成コース

2018年、産官学事業としてANA、JAL、航空局が本校と連携し、計画的に航空整備士を養成・確保するために、「一等航空整備士養成コース」を設立した。



**緒方 満里菜**

大手前高松高等学校（香川県）出身  
高校が進学校だったため、航空宇宙工学科のある大学に進学。しかし大学卒業後に航空業界に進んでいる学生は少なく、航空整備士になりたいと強く決めたため、本校に再進学を決めた。



**戸塚 慧哉**

帯広柏葉高等学校（北海道）出身  
もともと物事を考えることが好きで、飛行機の全てを知っている航空整備士に魅力を感じた。専門学校だからこそ整備のことを本格的に学べると思い本校に進学した。



**佐々木 滉太**

札幌新川高等学校（北海道）出身  
高校卒業後の進路を考える時期にパイロットを目指していた父に「航空業界はどう？」と勧められた。様々な職種がある中で、運航前の最後の砦であるライン整備士に魅力を感じ志すことにした。